



**笑顔が集う
みんなの食堂**

8月からは、地域の有志4人グループ「あじさい」が、輝北ふれあいセンターの調理室を利用して、うどん・そば定食、カレーライスなどを毎週1回提供する「輝北やすらぎ食堂」を運営しています。

代表の重田久代さんは、「運営を始めて3か月。輝北で採れる食材を使うことを常に心掛けています。また、利用者から野菜などを頂くことがあり、とても助かっています。皆さん完食してくださるので、作りがいがあります」と食事を提供する喜びを語ってくれました。



【営業日】第1・3水曜日
第2・4金曜日（変更になる場合有り）
【営業時間】11:30～13:30
【メニュー】うどん・そば定食、カレーライス
各500円



左から重田久代さん・河原正子さん・脇田定子さん・脇田るみ子さん



輝北やすらぎ市場代表
ありまひさお
有馬久雄さん
(輝北町下百引)

**採れたて新鮮
みんなの市場**

輝北ふれあいセンターのロビーには、地元で採れた新鮮な野菜や加工品、日用品などを取りそろえた「輝北やすらぎ市場」が店舗し、同センターの利用者を中心に買い物客でにぎわっています。この市場は、輝北町上百引にある地元特産物販売店「輝北キラキラ館」の支店として、週3回販売を行っています。

市場代表の有馬久雄さんは「地元輝北産にこだわった葉物や根菜類、旬の果物などを中心に販売しています。お客様からの小さな要望にも応えられるように品ぞろえに気を配っています。また、今後はいろいろなイベントに出席し、『輝北やすらぎ市場』の名前をもっと広めることや、移動手段がなく買い物に困っている人を支援するため移動販売もしていきたいです」と販売への意気込みと今後の目標を話してくれました。



利用者の
たなか
田中キヨ子さん
(輝北町下百引)

輝北ふれあいセンターに来たときはよく利用しています。ピーナツ豆腐や野菜などを購入します。野菜はどれも新鮮で、買い物に行く手間が省けて市場の存在はとてもありがたいです。



【営業日】月・水・木
【営業時間】11:00～15:00

輝北ふれあいセンター 「やすらぎ」で新たな出発!



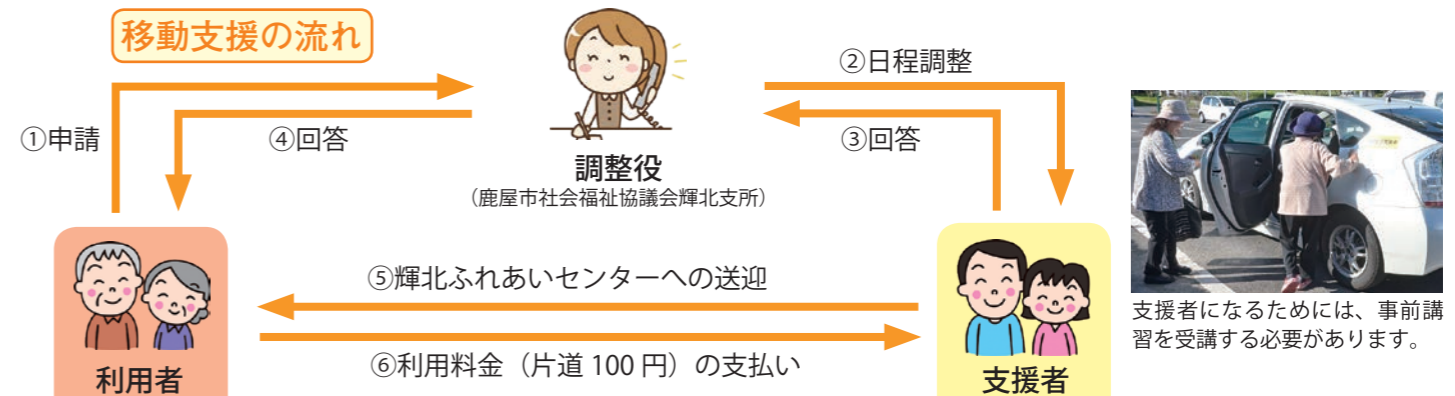
輝北地区の福祉の拠点施設である輝北ふれあいセンターは、今年4月から「やすらぎ」をキーワードに新たに出発しました。高齢化率が約46%と市内で最も高い輝北地区では、「地域で支える高齢者に優しい日本一輝けるまちづくり」を目指して、地域住民と共に様々な取り組みを展開しています。ここでは同センターを拠点とした新たな取り組みを紹介します。

輝北総合支所住民サービス課 Tel 099-486-1111



**県内初! 住民で
支える移動支援**

外出したくても移動手段がない高齢者や障がいのある人を支援するため、輝北地区の住民による移動支援が始まりました。これは県内で初めての取り組みで、現在8人の支援者が2人1組で自家用車を使用して、利用者宅と輝北ふれあいセンター間の送迎を行っています。この移動支援の取り組みにより、同センターの利用促進をはじめ、孤立しがちな高齢者等の社会参加やサロンなどを通じた介護予防の促進が図られます。今後とも地域から数多くの支援の輪が広がっていくことが期待されます。



支援者になるためには、事前講習を受講する必要があります。

支援者に自宅の庭先まで迎えに来ていただき、すごく助かっています。乗り降りのときも親切に声をかけてくれるので、うれしいです。センターでは、利用者の方たちと話をしたり、お風呂に入ったりと、一日が短く感じるほど充実した時間を過ごしています。



利用者の
やました
山下ミエさん
(輝北町平房)

支援者になったきっかけは、社会福祉協議会から地域のために協力できないかと相談されたことです。いずれは自分も年を取り地域の方のお世話になると考え、引き受けました。週に2回、百引と平南地区の利用者を送迎しています。自動車を運転できる限りは続けていきたいです。



支援者の
よしもと
吉元澄子さん
(輝北町下百引)